

- さらに、労使間で協議を重ねて健康管理規程を策定し、平成28年4月から区市町村が実施するがん検診を活用することを取り決め、従業員の検診受診を出勤扱いとするとともに、会社が検診費用を全額負担することとした。

取組の内容

<管理職を対象とした人間ドックの先行受診>

- 健康管理規程の運用開始にあたっては、管理職が自身の体験談をもとに従業員に対してがん検診の受診を勧めることができるようにするため、管理職を対象として人間ドックの先行受診を行った。この人間ドックの受診により、2名の管理職にがんが見つかったが、早期の発見であったことから、早期の段階で治療につなげることができた。

<社内報を活用したがん検診についての情報発信>

- 一人でも多くの従業員に健康について関心を持ってもらい、区市町村が行うがん検診を受診してもらえよう、社内報である「健康推進ニュース」を3回発行した。
- 健康推進ニュースでは、馴染みのある健康づくりの話題を入り口としてがんの話題につなげる工夫をするなど、従業員の関心を引き出す工夫を随所に散りばめた。また、健康推進ニュースの作成にあたっては、東京都から提供された資料やデータ等を活用して、がん対策の必要性について分かりやすくまとめたほか、会社として東京都職域連携がん対策支援事業に参加し、区市町村が行うがん検診の受診を推進していることも明記した。社内報はA4版1ページにコンパクトにまとめ、社内の掲示板等、従業員の目に触れやすい場所に掲示した。

[健康推進ニュース]

東京トラック運送(株) 平成28年8月10日 28-01 号
健康推進ニュース 財務・総務部発行

～会社の元気は従業員の健康から～

40歳を超えたら集団がん検診を受診しましょう!!
皆さんは会社で行う定期健康診断だけで満足していませんか？
死亡者の半数以上は、生活習慣病であるがん、循環器疾患（脳卒中や心筋梗塞）であり、そのなかでも「がん」は第1位です。

皆さんがお住まいの区市町村では集団がん検診を行っており、対象者には受診カードのようなものが毎年郵送されています。費用は会社負担で受診できますので、面倒くさがらず・怖がらずに定められた期間に受診しましょう。

健康で働くためには生活習慣の改善から!!
生活習慣病ってよく聞くけどなに？
こんな疑問持ったことはありませんか。主な生活習慣病には

- ① がん
- ② 糖尿病・メタボリックシンドローム
- ③ 循環器疾患
- ④ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

このようなものがあります。

皆さんの生活習慣を改善するだけでリスクが減るのがたくさんあります。

東京都福祉保健局保健政策部健康推進課の事業に当社は参加しております!!
東京都職域連携がん対策支援事業に昨年度より参加し、集団がん検診を従業員に受診させることで従業員の健康を守ることで優秀賞を受賞しており、本年度も同事業に参加しております。本年度は、集団がん検診の受診率向上に努める目標を掲げております。

本年度より東京都職域健康づくり推進事業にも参加する予定です。

運輸業界は、高齢化や若者の免許離れ、人口減少で働き手が少なくなっており、国民が使用する道路で営業させて頂いているということは、当社が事故を起こすことはあってはなりません。事故原因が病気であればなおさらです。会社が従業員の健康に費用をかけることは、最終的には会社の信頼・成長につながるということを全従業員が理解・共有しなければなりませんので、本ニュースを定期的に発行し、皆様の健康に役に立つ内容を更新してまいります。（財務・総務部長）

東京トラック運送(株) 平成28年10月5日 28-02 号
健康推進ニュース 財務・総務部発行

～お住まいの区市町村が実施する集団がん検診を受診しましょう～

40歳を超えたら1年に1回 集団がん検診を受診しましょう!!
働き盛りに急増中!! いまやがん患者のうち3人に1人が働く世代です。がん（悪性新生物）によって死亡する割合は、全死因の約3割を占めます。

| 死因 | 全国 | | 東京都 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 総数 | 割合 | 総数 | 割合 |
| 1位 がん | 28.8% | 33.1% | 24.1% | 30.2% |
| 2位 心臓病 | 15.5% | 14.0% | 17.1% | 15.1% |
| 3位 肺炎 | 9.7% | 10.1% | 10.8% | 9.1% |

年齢別でも35歳から「がん」による死者は3倍に!!
35歳以降になると5年おきに死者が2倍づつ増加

35歳155人→40歳334人→45歳510人→50歳887人
(東京都の人数)

がん部位別死亡率
男性は「肺がん」、女性は「大腸がん」による死亡の割合が高くなっています。

| 部位 | 全国 | | 東京都 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 総数 | 割合 | 総数 | 割合 |
| 肺癌 | 19.9% | 23.9% | 13.9% | 19.1% |
| 胃 | 13.3% | 14.7% | 11.2% | 12.7% |
| 結腸、直腸 | 13.0% | 11.8% | 14.7% | 13.5% |
| 肝臓 | 8.4% | 7.3% | 10.0% | 8.4% |
| 膵臓 | 8.2% | 9.1% | 7.0% | 7.5% |
| 胆のう、胆管 | 4.9% | 4.1% | 6.2% | 4.2% |
| 乳がん | 3.6% | 0.0% | 8.8% | 4.4% |
| 前立腺 | 3.1% | 5.3% | 0.0% | 3.4% |
| 食道 | 3.1% | 4.4% | 1.2% | 3.9% |
| 悪性リンパ腫 | 3.1% | 2.9% | 3.3% | 2.9% |

若年・中年層の女性のがん死亡数では「子宮がん」「乳がん」によるものが多くなっています。

受動喫煙の肺がんリスク1.3倍!
国立がんセンターは、受動喫煙による日本人の肺がんリスク評価を「ほぼ確実」から「確実」に。当社で、受動喫煙リスクがある最大の場所は「車両内」です。車両は、従業員が共有する会社の資産ですので、喫煙は車外の喫煙場所やPA、SAで行いたい。たばこを吸わない従業員への配慮を忘れず、きれいで清潔な状態を保ちましょう。

次号より「がん」の部位別の説明や予防方法なども発信していく予定です。従業員の欠勤数が減れば、会社は利益をつくりだすことができますが、欠勤すれば損失ははかり知れません。従業員のみならず自身の健康に興味を持つことによって、生活習慣病予防に大変役立つことも沢山ありますので、「検診がこわい」とか「面倒くさい」、「自分は大丈夫」など考えず正しい知識のもと、年齢で推奨されている検診は積極的に受診することを会社として推奨いたします。